

かながわの交通

交通安全年間スローガン受賞作品(内閣府特命担当大臣賞)
～一般部門(B)～ 歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの

危ないよ スマホじゃなくて 周り見て



第49回こども自転車神奈川県大会 (横浜市中区)



道路横断には気をつけて!

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵! 運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう!

**歩行者
事故
多発!**

◎県内の交通事故発生概況(平成30年7月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数		総数	男	女
平成30年		15,185	81	18,032	県人口	9,181,389	4,578,944	4,602,445
平成29年		16,049	76	18,994	免許人口	5,634,171	3,225,308	2,408,863
増減数		-864	+5	-962	割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人
増減率		-5.4	+6.6	-5.1				

(県人口は平成30年7月1日、免許人口は平成30年6月末現在)

交通死亡事故(平成30年上半期)の特徴

～交通死亡事故(死者数71人)の分析～

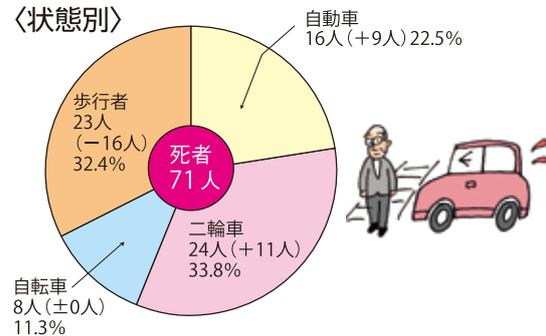
- 前年同期比+4人で全国ワースト第4位
- 車両単独の事故(25人)が大幅に増加し、全体の35.2%を占めています。
- 高齢者(65歳以上)の死者が最も多く、全体の42.3%を占めています。
- 二輪車の事故(24人)が最も多く、全体の33.8%を占めています。

「第10次神奈川県交通安全計画(平成28年度～平成32年度)」

交通事故死者数 年間150人以下

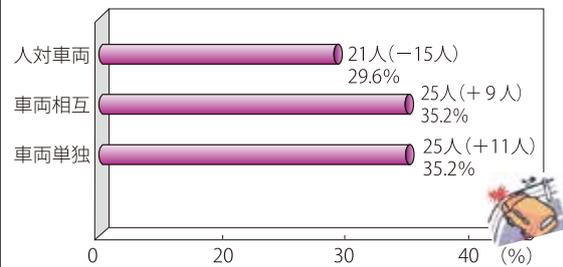
の目標達成に“黄色信号”今後の交通死亡事故抑止対策に全力を!

〈状態別〉



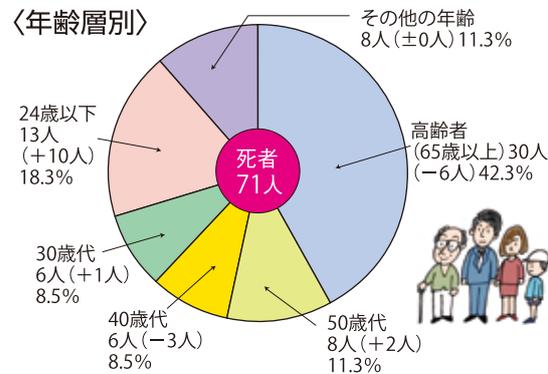
※歩行者は減少しているが、自動車と二輪車が
増加、特に二輪車が大幅に増加している。

〈事故類型別〉



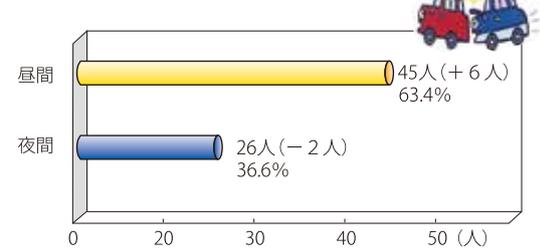
※人対車が減少しているが、車両単独と車両相互が
大幅に増加している。

〈年齢層別〉



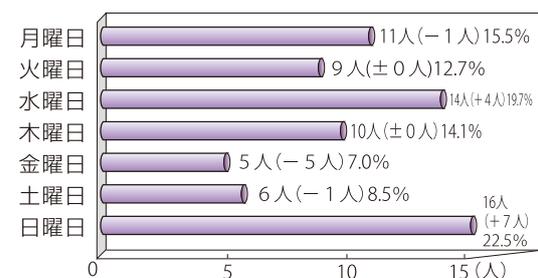
※高齢者が減少しているが全体の4割以上を占めている。

〈昼夜別〉



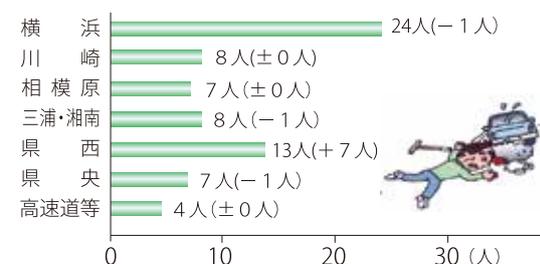
※時間帯別では午前6時から午前8時までが9人(+3人)、
午前10時から午後0時までが10人(+4人)と多くなっている。

〈曜日別〉



※日曜日と水曜日が増加し、金曜日が大幅に減少している。

〈地域別〉



※県西地区が大幅に増加し、横浜、三浦・湘南、県央
地区が減少している。

注：()内は前年同期比、%は全死者数に占める割合を示す。

夏の交通事故防止運動結果

交通事故発生件数・負傷者数減少

7月11日(水)から20日(金)までの10日間、神奈川県交通安全対策協議会主唱の下、県内各地区で夏の交通事故防止運動を実施しました。(巻末参照)

葉山交通安全協会では、一色海岸でのぼり旗を掲げて海水浴客や海の家等に対して、啓発物品等を配布しながらハンドルキーパー運動を行い飲酒運転根絶を、南交通安全協会では、警察署前の鎌倉街道で通行人等に対して、チラシ等を配布しながら交通事故防止を呼びかけるなど、それぞれ交通安全運動キャンペーンを展開しました。

期間中の交通事故死者数は3人(前年比+2人)で増加しましたが、発生件数、負傷者数はともに減少しました。

◇期間中の県内の交通事故発生概況

区分	発生件数(件)	死者数(人)	負傷者数(人)
本年	792	3	926
前年同期比	-130	+2	-159
増減率(%)	-14.1	+200.0	-14.7

※亡くなられた方は歩行者が1人、二輪車が1人、自転車1人となります。



葉山交通安全協会



南交通安全協会

第49回交通安全こども・第7回高齢者自転車神奈川県大会

第49回交通安全こども自転車神奈川県大会及び第7回交通安全高齢者自転車神奈川県大会が、7月7日(土)横浜市中区の横浜文化体育館で開催されました。

● こども自転車大会

三浦市立名向小学校が初優勝

こども自転車大会には、計15チーム、60人の選手の参加があり、各チームは会場に到着後、9時から学科テストに臨みました。開会式では昨年の優勝校から優勝旗が返還され、本大会古郡副会長、県警察本部西方交通部長の挨拶、来賓の紹介、審判長注意が行われた後、実技テスト(安全走行、技能走行)が開始されました。

大会の結果、こども自転車大会の団体では、三浦市立名向小学校チーム(橋本 善・6年、青木あすか・6年、関本絢乃・6年、近藤勇樹・6年の各選手)が優勝、個人では、団体優勝した三浦市立名向小学校の橋本 善選手が見事総合優勝に輝きました。

優勝した名向小学校チームは、8月8日(水)に東京ビッグサイトで開催される「第53回交通安全子供自転車全国大会」に神奈川県代表として出場する予定です。



(こども自転車大会優勝チーム) 三浦市立名向小学校

こども自転車大会の結果

● 団体成績

優勝	三浦市立名向小学校
第2位	開成町立開成南小学校
第3位	横浜市立八景小学校
第4位	厚木市立清水小学校A
第5位	三浦市立初声小学校
第6位	横浜市立小田小学校

● 個人成績(敬称略)

優勝	橋本 善(三浦市立名向小学校)
第2位	青木あすか(三浦市立名向小学校)
第3位	鈴木 楓花(三浦市立初声小学校)
第4位	岡村 紗弥(横浜市立本郷小学校A)
第5位	新倉 凜子(横浜市立小田小学校)
第6位	西山 大智(横浜市立八景小学校)



(個人優勝 橋本 善さん)

高齢者自転車大会

厚木チームが優勝

● 団体成績

優勝	厚木チーム
第2位	中原Aチーム
第3位	中原Bチーム

こども自転車大会の後に行われた安全走行と技能走行テストを一課題とする65歳以上(3人一組でチーム編成)の高齢者自転車大会には、9チーム27人の参加があり、厚木チーム(厚木警察署管内交通安全協会=亀井健次、湯澤光男、永野保夫の各選手)がこどもチームとの訓練成果を発揮して、「おじいちゃん、がんばれ」などの声援を受けて昨年に続いて三連覇を飾りました。



(高齢者自転車大会優勝チーム) 厚木チーム

●●● 第49回交通安全こども自転車神奈川県大会 ●●●

初優勝!! 三浦市立名向小学校

三浦市交通安全協会 事務長 青木緑子

passion

リベンジします!

昨年の「第48回こども自転車神奈川県大会」終了後に、名向小学校の選手が言った言葉です。

みごとに有言実行。「第49回こども自転車神奈川県大会」で、三浦市立名向小学校が優勝を勝ち取りました。

昨年の、三浦市内での予選会、その後の県大会、今年の予選会、今年の県大会と、三浦市立名向小学校と三浦市立初声小学校が成績を競い合い、日々の練習で切磋琢磨し、今回の結果に結びつきました。おめでとうございます。

一年間と言う長い道のりを、挫折をせずに夢を追い続けてこられた、力強い意志と努力をする姿勢は、選手たちの将来にきっと活かされるでしょう。選手たちの博学篤志の精神に、私たち大人も負けられないように一緒に、全国大会に向けて尽力したいと思います。

県大会参加に際し、当協会の役員・交通指導員、三崎警察署、三浦市役所、三浦市交通安全母の会、名向小学校関係者等の協力を得て、練習の準備、選手の指導等を進めて、見事初優勝することができました。

関係者の皆様方には深く感謝を申し上げます。



新任事務長紹介 ～よろしくお願ひします～

座間交通安全協会 大塚 吉則 事務長

「かながわの交通」をお読みのみなさん、今年の4月から座間交通安全協会の事務長として勤務しております大塚です。前職では、交通安全の現場経験はもとより交通安全に関する事務経験も浅く、県交通安全協会そして各地区の交通安全協会の皆さんに助けられながら、早くも(ようやく)4か月が過ぎた新米の事務長です。前事務長は、「超」が付くほどの長きに渡り、座間市の交通安全意識の啓発に尽力されてきた人であり、協会事務にも精通し頼られており、当然のことながら、まだまだ足元にも及びませんが、前事務長に追いつくよう努めてまいります。



座間市では、交通事故全体に占める自転車の関係する交通事故割合が高く、自転車交通事故多発地域に指定されていましたが、最近になりこの指定からようやく脱したところですが、これも、交通事故抑止のため、座間警察署、座間市交通安全対策協議会、行政など関係機関・団体等と連携・協力して、市民の交通安全意識の高揚を図るとともに、悲惨な交通事故を1件でも減らすという共通の目標に向かっていく成果だと思っております。当協会の一員として、各啓発事業の要となり、重要な責務を果たすべく、微力ではありますが交通事故防止活動に注力していきたいと思っております。これからも、どうぞよろしくお願ひいたします。

交通指導員だより

川崎交通安全協会 中村 喜江

「交通指導員だより」として、各地区交通安全協会の交通指導員の皆さんの活動等を適宜紹介しております。今回登場していただくのは、川崎交通安全協会の中村喜江さんです

● 地区での活動内容

朝の登校時の見守り、全国交通安全運動などのキャンペーン、箱根駅伝等のお手伝いをしています。仕事をもちながら参加しているため、活動できる範囲が限られており申し訳ないと思っています。

● 交通指導員としてのやりがい

交通安全週間の時などに町内会の方々とご一緒することで、今までよりも町内会の皆様と身近に接して頂けるようになり、子供達への登下校時の声掛けでも、元気に挨拶を返してくれることにやりがいを感じています。

交通指導員の活動を理解することにより、今までお世話になっていた皆様のご協力とご苦勞を内側から知れたことで、イベントなどの時には、より具体的に交通指導員仲間として相談等が出来るようになりました。

● 趣味

読書、のんびりと自転車でのお散歩。

● 今後の目標

交通指導員になってから散歩の時に、自転車の安全な乗り方、子供達やお年寄りを交通事故からどのように守るかなど、視点が少し変わってきたこともあり、地域の交通安全のお役に立てるよう、自身のスキルアップのため講習会等に参加して資格を取得したいです。



2019年使用 交通安全年間スローガン（標語）募集

締め切り 2018年9月30日（日）消印有効

一般部門 A

運転者（同乗者を含む）へ呼びかけるもの
(どなたでも応募可)

● 重点テーマ

A-1 交通ルールの遵守と運転マナーの向上

- ・横断歩道等における歩行者保護、他の車への思いやりの気持ちなど

A-2 飲酒運転の根絶

A-3 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用

A-4 前照灯の早め点灯

- ・夕暮れ時の前照灯の早め点灯は、自分の車の存在を周囲に知らせることができ、交通事故の未然防止につながる

こども部門

- ・中学生以下（自分たち自身）へ交通安全を呼びかけるもの（中学生以下のみ応募可）

重点テーマは特に定めず、中学生以下（自分たち自身）へ交通安全を呼びかけるものであれば良い

※各部門とも、重点テーマに沿ったスローガンを作成してください（句読点はつけないこと）

一般部門 B

歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの
(どなたでも応募可)

● 重点テーマ

B-1 交通ルールの遵守とマナーの向上

- ・特に高齢歩行者が横断する場合に、車への明確な合図（手をあげるなど）や車に対する警戒など
- ※高齢歩行者が横断の後半に左方向から来る車と衝突する機会が多い
- ・自転車が交差点に入る前に一時停止や減速をすることなど

B-2 夕暮れ時や夜間における交通事故防止

- ・反射材用品、ライトの活用など

B-3 自転車の安全利用

- ・乗車用ヘルメットの着用、自転車は車道の左側を通行（歩道は歩行者優先で車道寄りを徐行）など
- ・自転車安全利用五則の遵守



■ 送り先

〒100-8051 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 毎日新聞社事業本部「交通安全年間スローガン」係

■ お問い合わせ先

毎日企画サービス「交通安全年間スローガン」事務局

(TEL03-6265-6815 平日 10:00 ~ 17:00)

交通事故の悲劇に学ぶ ⑥1

●「自分勝手」 建設作業員 (48歳)

私は、人として一番やってはいけないことをしてしまいました。人をころしてしまいました。事件の日、仕事帰りの車の中で携帯電話が鳴り、「これから食事をしよう。」との同僚からの誘いがありました。私は車で友人のアパートまで行き、友人2人と合流し、私の車でそこから500メートル位のところにある居酒屋へ行き、飲食しました。帰りは飲酒運転ということは分かっていたのですが、近いから大丈夫という軽い気持ちで車を発進させました。

すると、アパートの手前で後ろから追跡してきたパトカーに、「停止しなさい。」と制止されました。しかし、私は飲酒していた為、停止命令を無視し、パトカーの追跡を逃れるた為にスピードを出し逃げました。その結果、カーブを曲がり切れず、縁石とポールに衝突、車が横転しました。私は縁石に衝突する手前から記憶がなく車が横転した事、自分が車外に投げ出された事も分かりませんでした。気付いた時、走って逃げている自分がいました。

少し経ち、友人2人はどうしたか気になりましたが、私は2人とも大丈夫と勝手に思い、酒が醒めたら警察に行けばいいと考え、タクシーに乗り、自宅に帰りました。

朝、警察官が家に来て、身柄を拘束されました。取調室で友人の事を聞くと、1人は逃げ、1人は病院に運ばれたと聞きました。けがの状態を聞くと、亡くなったと言われ、頭の中が真っ白になりました。

取り返しのつかないことをしてしまった、呆然としました。本当なのか感覚が麻痺しました。事故を起こし、同乗者の命を奪った加害者の私ですらこんな感じですから、ご遺族の方々は想像を絶するものがあったに違いありません。

私はご遺族の方々に謝罪できません。ご遺族の方は悔しい気持ちや怒りの気持ちで一杯だと思います。私は逮捕され、裁判が終わり、懲役3年の刑が下されました。罪名は自動車運転過失致死と道路交通法違反(救護義務違反)でした。



イラストは本文とは関係ありません

平成26年から法令が変わり、逃げ得は許さない、交通三悪は事故でなく、犯罪だという声もあり、刑罰が重くなります。私は少しでも犯罪が減ってくれたらいいと思います。

私は今、市原刑務所で服役し、反省の日々を送っています。受刑生活の中で、被害者について考える等の教育を学び、自分の今までの行動や考え方を理解し、ルールを守ることの大切さや命の尊さを改めて感じています。

私の犯した罪は消えません。今回の事件で友人は被害者、自分は加害者の関係に分かれました。友人の命を奪ってしまいとても悲しい、なぜ自分は死ななかったのか、自分が死ねば良かったと考えました。

これからの償いは、自分に出来ることを精一杯やって彼の死を無駄にしないこと。そのためにも1日1日を一生懸命に生きる。亡くなった友人の為にも一生懸命に。そして、出所したら、遺族の方に謝罪し、墓参りに行く。迷惑を掛けた関係者の方々にも謝罪し、私自身が更生し、社会に貢献できるような人間になることが償いになると考えます。交通事故で悲しむ人が減ってくれることを心から願っています。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行
「贖いの日々(第49集)」から～

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- (株)バンテック _____ 川崎市川崎区日進町
- 神奈川トヨタ自動車(株) _____ 横浜市神奈川区栄町
- 新栄運輸(株) _____ 横浜市鶴見区平安町

この人

151



会長
横浜水上交通安全協会
原田 龍次郎さん
はらだ りゅうじろう



横浜水上交通安全協会は昭和35年3月に発足し、中区山下町の山下埠頭内の横浜港運会館2階に事務所を構えています。

当協会のエリア内には、日本の海の玄関口であり国内外の大型豪華客船などが寄港する大棧橋国際客船ターミナルを中心に、複合型商業施設のワールドポーターズや横浜赤レンガ倉庫などの若者向けスポットがあり、年々観光客も増加する中、世界トリアスロンシリーズ横浜大会などの各種イベントも開催され、年間を通して国際色豊かな賑わいを見せています。

今回は当協会で、平成26年7月から会長を務めます、原田龍次郎さんをご紹介します。

会長は、港湾関係会社の要職にあつてその功績も輝かしく、現在も忙しく活躍しているにもかかわらず、交通安全活動に対する意欲は旺盛で、腰が低く気さくな人柄と相俟って、横浜水上警察署員からの信望も厚く、頼りにされています。担当するエリアの97%は水域で、陸地は3%ですが、春と秋の全国交通安全運動では、警察署の警

察舟艇に会長自ら乗り込み、海上交通安全パレードを行い、横浜港の海上から山下公園やみなとみらい地区の観光客のほか、埠頭関連事業所従業員等にも交通安全を呼びかけています。

また、横浜水上警察署管内にありましては、平成19年1月9日から「交通死亡事故ゼロ」を継続しており、本年7月に4,200日を達成しております。これを更に継続するため、開港広場交差点などで、会長が推進役となって役員や交通指導員、警察署、交通関係団体等と連携しながら、チラシ・啓発物品配布などの街頭活動を行っております。

会長の趣味はゴルフとのことです（半分は仕事ですが・・・）。健康管理の面では、日々30分は歩くことを心掛け、毎日歩いて通勤しているそうです。

今後も健康に留意されて、趣味に、仕事に、交通安全活動にご活躍されることを期待しております。

取材協力：横浜水上交通安全協会

こんにちは
「相模原北交通安全協会」です

相模原北交通安全協会は、平成18年に県下で54番目に発足してから12年が過ぎました。相変わらず警察署と離れていることと、駐車場がないことへの苦情が多いところですが、近隣には公共の施設や大型スーパーの駐車場がありここを利用して、更新に来られる方も2度目、3度目となり、帰りに買い物をして行くなど、少しずつ当協会が周知されてきたように感じます。

しかしながら、少しの間だからと路上駐車をする人も後を絶たず、職員は通常業務の傍ら、路上駐車をしないようドライバーにお願いするため日々奮闘を続けております。当協会は、即日交付を希望される方が年々増えて、今では相模原北地区在住の更新者より、他の

地区の更新者の方が遙かに上回り、毎日忙しい割には協会入会者が少ないのが悩みです。時代が変わってきたのかと・・・

また、JR横浜線橋本駅より徒歩15分前後の所に位置し、橋本駅には相模線・京王線が乗り入れ、中央線や小田急線にも近く都心に出るにも比較的便利で、平成39年には、橋本駅にリニア中央新幹線が開通する予定で、今後目覚ましい発展が期待される町です。

相模原市は自転車利用者が非常に多く、相模原北警察署を中心に区役所、交通関係団体等と合同で、自転車の交通事故防止に力を入れて取り組んでおります。その他、年間を通して様々なキャンペーン活動には協会役員その他、ボランティアの方々の協力が不可欠であり、毎回大勢の方に参加して頂き、こうした地道な活動が交



通事故の減少に繋がっているのではと感じております。

今後も警察署や関係機関・団体等と連携し、一件でも悲惨な交通事故をなくすため、各種交通安全活動に力を注いで参りたいと思います。当協会の課題としましては、こうした活動により多くの方に賛同してもらい、協力していただけるよう会員の確保に努力して参りたいと思っています。

(笹森 記)

地区交通安全協会の活動紹介



伊勢佐木 桜木町駅前での交通事故防止キャンペーン



旭 鶴ヶ峰駅前での交通事故防止キャンペーン



都 筑 センター南駅前での交通事故防止キャンペーン



小田原 小田原駅自由通路での交通事故防止キャンペーン



麻 生 新百合ヶ丘駅通路での交通事故防止キャンペーン



栄 大船駅前での交通事故防止キャンペーン



金 沢 金沢文庫駅前での交通事故防止キャンペーン



大 磯 東町地区での交通事故防止キャンペーン



逗 子 逗子駅前での交通事故防止キャンペーン



津久井 三ヶ木地区での交通事故防止キャンペーン

夏の交通事故防止運動

インフォメーション

- グッドライダーミーティング ————— 9月 1日(土) 運転免許センター
- 地区交通安全協会会長会議 ————— 9月13日(木) 県安協会館
- 二輪車安全運転講習会 ————— 9月15日(土) 運転免許センター
- 秋の全国交通安全運動 ————— 9月21日(金)～30日(日)までの10日間各地
- 交通事故死ゼロを目指す日 ————— 9月30日(日) 各地